


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属	株式会社四万十ドラマ					
役職	代表取締役社長					
氏名	畦地 履正	ふりがな	あぜち りしょう	生年月日	1964年7月22日	
連絡先住所	〒786-0535	高知県高岡郡四万十町十和川口62-9				
電話番号	0880-28-5527	メールアドレス	risho@shimanto-drama.jp			
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成6年に、四万十川中流域の大正町、十和村、西土佐村が設置した第3セクター「株式会社四万十ドラマ」の事務局に勤める。 ◆平成17年に完全民営化の株式会社として自立。 ◆平成20年度 農林水産省「立ち上がる農山漁村」認定 ◆平成20年度 高知県「高知県地場産業大賞」大賞受賞 ◆平成21年度 経済産業省「ソーシャルビジネス55選」認定 ◆平成22年度 地域づくり総務大臣表彰 優秀賞受賞 ◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録） 					
	<p>四万十川の自然環境を保全しながら活用することをベースに、約30種類の独自商品の開発・販売に取り組んでいる。100%四万十茶葉で作られた大ヒット商品「しまんと緑茶」、「しまんとほうじ茶」を始め、ノベルティー商品「四万十天然ヒノキ風呂」など、環境に負担をかけないものづくりを展開。地域資源の「生産の現場」を保全しながら、活用し、そこから生まれた「商品」が地元に戻って来る「地元発着型産業」のトップランナー。その具体的なコンセプトは「ローカル」「ローテク」「ローインパクト」。これらが循環する新しいコミュニティビジネスを展開しています。この考え方を軸に「ローフード」「ローライフ」の提唱を加え、山と川の暮らしと天然素材に新しい価値観をつくり流域に住む人とともに生活文化、技術、知恵、風景を残しながら、四万十川流域の新たな産業をつくります。</p> <p>さらに、商品販売だけではなく、四万十川をテーマに、本当の豊かさとは何かを考えるネットワーク会員制度「RIVER」を運営、情報交換や交流会を通じて田舎と都会の双方向の村づくりを進めている。</p>					
取組分野	<input type="radio"/>	1	観光振興	<input type="checkbox"/>	7	住民参加・協働
	<input type="radio"/>	2	産業振興	<input type="radio"/>	8	イベント交流
	<input type="checkbox"/>	3	過疎地域・限界集落の振興	<input type="radio"/>	9	食品流通
	<input type="checkbox"/>	4	中心市街地活性化	<input type="radio"/>	10	環境
	<input type="checkbox"/>	5	まちづくり景観	<input type="checkbox"/>	11	NPO・ボランティア
	<input type="radio"/>	6	農林水産品の開発・ブランド化	<input type="checkbox"/>	12	その他()
3. 関連ホームページ						
名称		アドレス				
株式会社四万十ドラマ		http://www.shimanto-drama.jp/				

4. ふるさと財団での実績	
地 域 再 生 マ ネ ー ジ ャ ー	<ul style="list-style-type: none"> ◆2010年度 福島県三島市 「地域の魅力発掘、地域の食材を活かした新料理メニュー、着地型観光プログラム、地域への集客の為のPR」 ◆2016年～17年度 石川県羽咋市 「循環型産業システム構築事業～のと羽咋美味しい創出プロジェクト～」
地 域 再 生 セ ミ ナ ー 講 師	<ul style="list-style-type: none"> ◆2012年度 大分県 セミナーテーマ:「日本一のおんせん県おいたの味力も満載」 ◆2013年度 和歌山県 セミナーテーマ:「暮らし続けたい魅力ある地域をつくるために」 ◆2017年度 新潟県 セミナーテーマ:『地域で儲ける』 ～コミュニティビジネスによる地域活性化～
短 期 診 断 マ ネ ー ジ ャ ー	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chiikisais

6. 写真・ひとことPR	
	<p>< ひとことPR ></p> <p>「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに、四万十の資源を活かした商品開発から販売を手がけてきました。また近年では人材育成や起業家支援に力を入れることにより、次の世代へのバトンタッチが出来る仕組みも合わせて行っています。</p>